

第2回 中央区自治協議会 会議概要

開催日時	令和7年5月30日（金曜） 午後3時から午後4時まで
会 場	中央区役所 5階 対策室
出席者	委 員 渡辺（雅）委員、相田委員、近藤委員、米倉委員、上之山委員、青山委員、伊藤委員、野澤委員、田中（秀）委員、山岸委員、鈴木委員、長谷川（文）委員、藤井委員、平井委員、上松委員、渡邊（俊）委員、天本委員、田中（雅）委員、渡部委員、海藤委員、八木委員、長谷川（敏）委員、森本委員、島垣委員、五十嵐委員、桑原委員、菅原委員、石橋委員、保坂委員、松川委員 出席30名 欠席2名 （久保委員、高橋委員） 事務局・説明者 〔新潟市〕国際課長 〔新潟市教育委員会〕教育支援センター所長、教育支援センター指導主事、中央図書館長、中央公民館長 〔中央区役所〕区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長補佐、保護課長、建設課長補佐、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐
議 事	1 開会 ○ 会議の成立について 委員32名中30名出席のため、規定により会議は成立 2 議事（議長＝山岸会長） （1）中央区自治協議会委員推薦会議の構成員選出について（資料 議1） ○ 中央区自治協議会委員推薦会議の構成員選出について、総務運営会議で検討した第1号委員5名、第2号委員1名、第3号委員2名の計8名を選出しました。 第1号委員＝渡辺（雅）委員、上松委員、渡部委員、久保委員、八木委員 第2号委員＝五十嵐委員 第3号委員＝森本委員、保坂委員

3 報告

――総務運営会議からの説明（報告）――

（１）所属部会について（資料 報１）

- 山岸会長より、所属部会について各委員の意向をとりまとめ、調整した結果について報告がありました。

――各所管課からの説明（報告）――

（２）中央区区ビジョンまちづくり計画第２次実施計画について（資料 報２）

- 地域課長より、中央区区ビジョンまちづくり計画第２次実施計画について説明がありました。

- 松川委員より、「ハマベリング!!!～しもまち地域魅力向上事業～」(以下「ハマベリング事業」という。)について、鳥屋野潟南部の開発により南部への人口流出が懸念されることから、しもまち地域への定住促進策や、観光推進の観点から「ハマベリング!!!」の名称を駅・空港・港などの新潟市の玄関口に掲示し、市民や来訪者への認知向上に努めてほしいと意見がありました。地域課長より、プロモーションの部分を課題に感じているため、SNS も活用してしっかり取り組んでいくと回答がありました。
- 田中（秀）委員より、「西海岸公園等利便性向上事業」について、西海岸公園全体を対象として順次進めるのか、日山浜周辺に限定した事業なのか質問がありました。地域課長より、前年度まで実施していたハマベリング事業は、日山浜対面の西海岸公園エリアで実施しており、賑わいが出てきている中で、日陰やベンチが不足しているといった意見があり、そうした課題に対応するための事業であると回答がありました。
- 田中（雅）委員より、高齢化率が高く、こどもの少ないしもまち地域だが、ハマベリング事業により、こどもたちの姿が見られるようになったと意見がありました。
- 青山委員より、ふわふわドームにより賑わいが見られる一方で、小さな子が危険にさらされる場面もあるとして、安全性の問題に関する意

見と、高齢者からは東屋下へのベンチ設置希望があり、熱中症対策としても対応を求めると意見がありました。建設課長補佐より、遊具の点検をしながら熱中症対策も含めて安全な利用を最優先に考えており、利用方法についても適切に周知し、安全対策を講じていくと回答がありました。地域課長より、ふわふわドームは12歳までの年齢制限が掲示されており、ルールの徹底について考えていきたいと回答がありました。

- 近藤委員より、ハマベリング事業に関して交流人口の増加を実感しているが、海水浴シーズン中のトイレの充実を求める意見と、ふわふわドームの年齢制限が守られていない状況について意見がありました。建設課長補佐より、トイレについては利用状況を注視しながら必要な対策を進めていき、ふわふわドームは安全に利用できる措置を講じていくと回答がありました。地域課長より、交流人口増加の実感を受け、移住・定住促進に向けた取組みを今後も進めていくと回答がありました。
- 長谷川（敏）委員より、しもまち地域で若者が長屋をシェアハウスとして活用するなど、新しい動きが生まれていること、まち歩きでは、こどもたちが旧遊郭や入船地藏・開運稲荷に強い関心を示したことについて報告がありました。一方で、しもまちやハマベリング事業の発信が不足していると意見があり、地域おこし協力隊の活動成果について質問がありました。地域課長より、しもまちのレトロな街並みに子どもたちが関心を示している点をヒントとして、取組みに結びつけていきたいと回答がありました。また、地域おこし協力隊については、市の委嘱を受けて、全市を対象として活動しており、中央区においては、現在、政策企画部の事業を活用し、ハマベリング事業に特化した地域おこし協力隊の配置を調整中であり、今後はPR面の強化にも取り組んでいくと回答がありました。

（3）令和7年度 教育委員会の主な事業について（資料 報3）

- 教育支援センター所長より、令和7年度教育委員会の主な事業について説明がありました。
- 田中（雅）委員より、予算規模について質問がありました。教育支援センター所長より、資料に記載のとおりであると回答がありました。

(4) 新潟市多文化共生基本方針について（資料 報4）

○ 国際課長より、新潟市多文化共生基本方針について説明がありました。

- 松川委員より、多言語での情報発信の推進に関し、バス利用時の案内が日本語のみである点を挙げ、都市交通政策課や新潟交通と連携し、改善を求める意見と、日本の風土や文化への理解促進について、外国人との価値観の違いによるトラブルが懸念されるため、その点にも配慮しながら取組みを進めてほしいと要望がありました。国際課長より、バス利用に関する外国人への多言語対応については、国際交流員の意見も参考にしながら、改善策を庁内で検討していくと回答がありました。また、日本の風土・文化理解の促進については、相談窓口で生活ルールに関する問い合わせが多いことから、外国人向けに新潟市での暮らしに必要な基本的なことが分かる資料の作成を検討中であると説明がありました。

4 その他

(1) 委員からのお知らせ

○ 田中（秀）委員より、「関屋浜海の花火大会」についてお知らせがありました。

(2) 総務運営会議からのお知らせ

○ 山岸会長より、市立保育園配置計画に関する勉強会の開催についてお知らせがありました。

5 閉会

県議・市議	1名
傍聴者	2名
報道機関	0社